

## 近畿運輸局 鉄道部 監理課 専門官 【事務官】平成18年4月入局

### 略歴

令和2年4月 和歌山運輸支局 輸送・監査部門  
令和4年4月 近畿運輸局 鉄道部 計画課 主査  
令和5年4月 近畿運輸局 鉄道部 監理課 主査  
令和5年10月 近畿運輸局 鉄道部 監理課 専門官



### 近畿運輸局に入局したきっかけ・理由は何ですか？

---

最初はできるだけ多くの人に影響がある仕事内容は何かと考えました。通勤・通学・買い物・旅行など、ほぼ全ての人は日々の生活をするうえで交通を抜きにしては語れないものと思います。日々の市井の人の生活に少しでも仕事を通して自分が関わることができれば、自分が世の中で働く意味を見いだせるのではと思ったのかきっかけです。

### 現在はどんな業務に携わっていますか。

---

鉄道部で鉄道事業者の運賃認可、危機管理対応、鉄道事業者への業務監査を行う等、幅広い業務をこなしています。当然ながら事業者の人とお話をする機会も多い仕事です。以前は同じ鉄道部内で、駅のホームドアやエレベーター等のバリアフリー設備の補助金を執行する仕事をしていました。

### これまで携わった中で印象に残っている仕事を教えてください。

---

ここではあまり紹介できないお話もありますが(笑)、紹介できるなかではインバウンド増加によって発生してきた違法タクシーの取締まりを手探りで始めたり、和歌山県での廃止路線バスに代わっての新たな地域交通体型再編の開始に関わらせていただいたことが印象に残っています。また他には、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が始まる前に、スポーツ庁に2年間出向する機会をいただき、日々めまぐるしく変わる状況の中で、世の中が動いていく状況を身をもって体験でき、他省庁や一般企業からの出向の方等、職種の違い色々な方々と仕事ができたと自分の財産となっています。

## 近畿運輸局の魅力って何だと思いませんか？

---

一言で言えば業務の多様性にあると思います。ピカソといえば「あー。あの絵を描く人ね。」と誰でもすぐに思いつくかと思いますが、レオナルド・ダヴィンチとなると画家、彫刻家、軍事研究家、科学者、建築家など色々な側面があり、「何をした人？」と一言では説明しにくく、人によっては印象が変わるかもしれません。運輸局はいわゆるダヴィンチ型の行政機関だと思います。色々な交通に関するハードからソフト施策を幅広く扱っています。異動となると一般企業で言えばほぼ転職に近いほど業務内容が変わっていきます。もちろん慣れるまでは大変ですが、その分色々な仕事を体験でき、飽きのない職場だと思います。

最後に、国家公務員を目指す受験生へ熱いメッセージをお願いします。

---

国家公務員はいわば国の裏方業だと思っています。目立たない仕事も多く、世の中にとってはその必要性が伝わりにくい部分も多いかもしれません。ただ、そのほとんどが世の中になくてはならない仕事でもあります。たとえ運輸局とは違うところで働くことになられても、その事を忘れずに、自分なりの働きがいを見つけていただければ幸いです。もちろん、もし一緒に働ける機会がありましたら喜んで！

